

## ATS-Pの改善を！ 不当な労務管理を許すな！ 分科会が共通課題で議論

7月8日、東海エリアのJR貨物労組とJR東海労の乗務員の交流会が開催されました。交流会には30名が参加しました。

今交流会では、ATS-Pにおける問題と、各単組における労務管理の実態を共有し、問題解決に向け闘いを展開することを意思統一しました。

ATS-Pについては、地上子の増設が必要な場所が特定されることが明らかにされたため、各単組で会社に申し入れを行うことが確認されました。

労務管理については、JR東海労から東京第二運輸所分会斉藤書記長にかけられた「酒気帯び」を口実とした不当処分撤回の裁判勝利に向け、この間の経過や闘う決意を報告しました。JR貨物労組からは、東京第二運輸所分会斉藤書記長に対して、激励のカンパを頂きました。



JR貨物労組の報告では、稲沢機関区における体罰の実態とそれに対する闘いの報告がされました。

そして、今交流会で、国鉄改革25年を契機としたJR総連破壊攻撃を許さない闘いを、各単組で構築すること意思統一し、交流会を終了しました。